

佐賀市総合計画将来像について

1 総合政策分科会での審議結果

【分科会案】豊かな自然とこどもの笑顔が育つまち さが

<基本的考え等>

「佐賀市まちづくり自治基本条例」にある「こども・次世代の育成」。

こどもたちの笑顔がまちづくりを前進させる。

こどもが笑顔になることは、周りの大人の基盤もしっかりしていて、幸せである。

<関連する意見>

- ・「笑顔が育つ」というのは、日本語的には意味をなさないのでは。ニュアンスは分かる。
- ・「笑顔が輝く」ではどうだろうか。

2 将来像についての事務局確認

◎分科会での審議の際に、「笑顔が育つ」という表現が気になるとの意見が出ていたため、案の決定後に、市内部会議での検討とともに、改めて専門家（大学国語教育学）に相談した。

➤現行の分科会案については、国語的な文法面での問題はない。

➤人それぞれの言語感覚によるが、違和感を覚える人がいるならば、やや適切さに欠けた表現であると言える。

3 確認結果を踏まえての対応

◎現行案の表現に違和感があるとの意見があったため、違和感を持たれない表現に変更した方が望ましい。

◎変更については、分科会での審議を尊重し、趣旨が変わらない範囲で行う。

◎「豊かな自然」「こどもの笑顔」はキーワードであるため、そのままとし、他の箇所での変更を検討する。

4 変更案

(1) 豊かな自然とこどもの笑顔を育むまち さが

◎「が育つ」を、「を育む」に改める。

◎語感、ニュアンスの違いは生じるが大意としては分科会の考えに沿っており、最小限の変更と言える。

◎「豊かな自然」に他動詞である「育む」という組み合わせが適しているかが、受け手の言語感覚により違和感を感じる可能性がある。

(2) 豊かな自然とこどもの笑顔が輝くまち さが

◎「育つ」を、「輝く」に改める。

◎分科会では、「輝く」「囲む」「あふれる」などのフレーズが出ており、これらのフレーズについて、専門家に相談した結果、適切との見解だった。

◎「輝く」には「生き生きとして明るさがあふれる」という意味があり、現行案に決定した趣旨と重なる。